

4. 「さよならピラミッド校舎 &ウルトラセブン上映会」レポート

ピラミッド校舎に迫る侵略者プロテ星人、そして地球を守るウルトラセブン。

これは特撮番組「ウルトラセブン」の第29話「ひとりぼっちの地球人」(1968年)の一場面です。学習院大学は京南大学の設定で撮影地に使用され、ピラミッド校舎(中央教室)や北1号館など、いくつかの建物が登場しています。

「ピラ校」の愛称で呼ばれるピラミッド校舎は、日本を代表する建築家前川國男氏の設計により昭和35年(1960)に竣工しました。しかし、老朽化のため解体が決定したことから、平成20年(2008)1月12・13日にお別れ見学会を催し、13日にはピラ校で「ウルトラセブン」の上映会が行われました。当日は、「ひとりぼっ

ちの地球人」の監督を務めた満田^{かずほ}裕氏をお招きし、撮影当時の様子をお話いただきました。「全てが見どころ」と語る満田監督のお話は、「ウルトラセブン」への深い愛情と自信が感じられ、ピラ校を埋め尽くした多くの来場者を魅了しました。

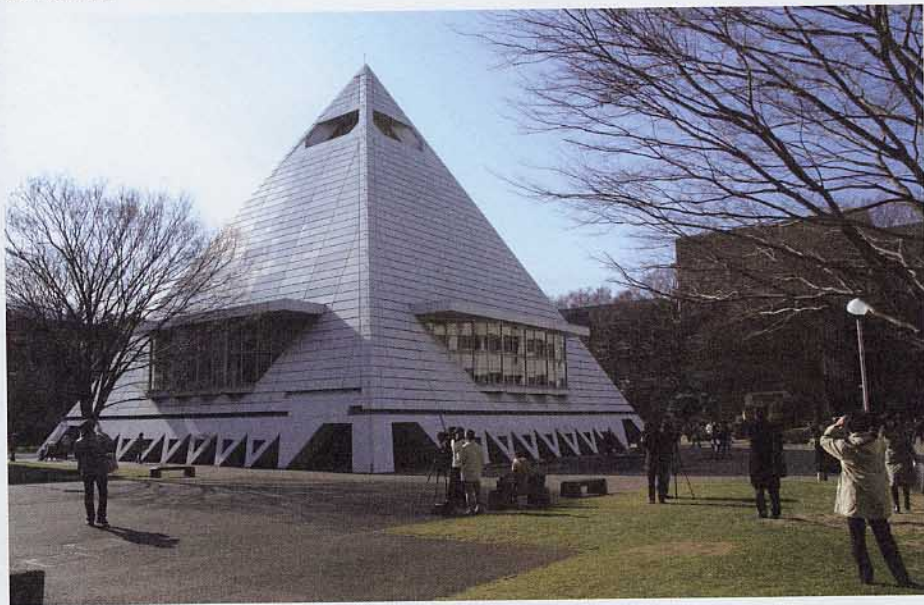
このイベントは、事前に新聞・テレビなどで報道され、インターネットでも話題となり、当日は厳しい寒風にもかかわらず、2,000人余の来場者を得て、盛会のうちに終了しました。ピラ校は、これまで私たちに数多くの思い出を与えてくれましたが、最後にまた大きな話題を提供してくれたと言えるでしょう。

なお、今年の夏からは、「目白キャンパスの100年」展(仮)を開催し、9月には「ウルトラセブン上映会&トークショー」を行う予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

(野尻泰弘)



満田 裕 監督



ピラ校を撮影する見学者



会場風景(みんなで決めのポーズ)



ウルトラセブン ©1967円谷プロ



ピラ校とプロテ星人 ©1967円谷プロ

